

■令和7年 9月29日 No.16「主2」

今日は久しぶりに雨が降っています。廊下などが滑りやすくなっているので注意してくださいね。それでは今日のお話しです。先週から引き続いて「主」の話しです。今の学校で、子どもが主人公になっていない時間として、お掃除の時間をあげました。ところが富山県の小学校ではすでに、子ども主人公のお掃除が始まっていたのでした。そこで、大宮西小でも子ども主人公のお掃除をはじめていきたいのですが、どうしたらいいと思いますか？というのが前回のお題でした。

今日はこれに関するお話の前に、一つ見てほしい動画があります。この人は誰でしょう？そう大谷選手ですね。彼は今アメリカのメジャーリーグで大活躍しているのですが、あることをすることでもよく知られています。それがゴミ拾いです。この動画をみてください。

ライトフライのあと、ベンチに戻るときに、グラウンドに落ちていたコンビニ袋を拾っています。他にも、大谷選手ゴミ拾いで検索しますと、たくさん動画がでてきます。そう、彼はしょっちゅう試合中に野球場のゴミを拾っているのです。なぜでしょう？少し周りの人と聞き合ってみてください。

彼は「少しでもきれいな野球場で試合を見てほしいから」とか「ぼくはゴミではなく、運を拾っていると思っています」と話していました。そして、大谷選手は監督に言われてゴミ拾いをしているわけではありません。自分の考えで主体的にごみを拾っていることも、見習わないといけません。

きれいな学校で勉強したい、きれいな教室で給食を食べたい、きれいな運動場で遊びたいという思いはありますよね。そのためには、皆さんが主体的にお掃除に取り組むことが大切です。さらにその取り組みは、世のため人のために自分のやりたいことを見つける力になります。

では、先週のお題に戻ります。主体的なお掃除

ってどうしたらいいのでしょうか？書いてくれたみなさん、ありがとうございます。「自分で場所を決める」「自由に掃除場所を決める」などなどみなさんの書いてある通りですね。ようは、自分で「あ、ここきれいにしよう！」と思うところをそうじすればいいのです。

10月ごろより始めたいと思います。なお①教室とおトイレは今まで通り行きます。②それ以外の場所は自分でお掃除する場所を決めてお掃除します。ただし、自分がどこにいるかを地図などを使って、担任の先生に伝えてください。

注意事項は2点あります。何かわかりますか？少し周りの人と聞き合ってみてください。「さぼらない」「友だちにくつついていかない」「先生に行ってはいけない場所には行かない」などなどたくさん意見がでました。その通りで、校長先生からは①危ないところはやめてください。高いところや、入ってはいけないところです。②ふざけません。自由時間ではありません。あくまでも自分できれいにしたいところを決めて掃除をする時間です。校長先生は、さぼる子どもは誰もいないと信じてこの主体的清掃を始めますので、よろしくお願いします。

主体的にお掃除に取り組むことで、主体性が育ちます。それは、世のため人のために自分のやりたいことを身につける力になります。実際身に着けて、小学生ながら会社をつくり、社長になった人もいます。この6年生の女の子は、4年生のときに、趣味のゴミ拾いからはじまって、お掃除をたのしむ会社をつくったのでした。

ここまでがんばれとは言いませんが、掃除の時間を主体的に進めて自分の夢をかなえる力を伸ばしてください。今週のお題は、みなさんの将来の夢を教えてください。

今日も最後まで聞いていただき、ありがとうございました。